口腔機能発達不全症をみるためのポイントとは

～　子どもたちの現状をみることは、子どもたちの未来をみること　～

　平成30年度歯科診療報酬改定により、口腔機能発達不全症が収載され保険算定可能になり、小児の口腔機能は着目されてきています。子どもたちは食べる・話す・呼吸する・表情をつくるなどの口腔機能を少しずつ成長させながら育っていきます。その成長過程の中で、機能の発達がうまくいっていない子ども（口腔機能発達不全症の子ども）たちは多くなっていっているといわれています。歯科医療従事者は口腔機能の発達に問題がある子どもたちをどのように見分け、支援することができるのでしょうか。そのような子どもたちに私たちができることは何なのか、一緒に考えることができたらと思っています。

講師

岩寺　信喜 先生

歯学博士

小児歯科学会認定　専門医

医）岩寺小児歯科医院　院長

医）岩寺小児歯科医院　南郷通り子ども歯科　院長

北海道大学病院　小児・障がい者歯科　客員臨床歯科医師

北海道医療大学　小児歯科学講座　非常勤講師

北海道小児歯科医会　副会長

全国小児歯科開業医会　理事

顎顔面矯正治療セミナー　インストラクター

学校法人西野学園　衛生士科　非常勤講師

札幌歯科学院専門学校　衛生士科　非常勤講師